



岩手山  
雄大な美しさを誇る、岩手県の最高峰、岩手山。東側に裾野を引く姿から高部片富士ともよばれています。また、日本百名山のコーナー型火山で、枕火り岩岩流は、国の特別天然記念物に指定されています。

桜  
三月号  
- 2023 -  
桜

かり路 本格的な夫の秋田にやってくるには名残りの雪が  
 数回降るからどおの過ごしておくれぼろろ夫のぼろろのわ!!  
 さて今月号は何を書こうかとペンも走らせているそのころは  
 まるで何十年も書き続けたようなレグレシーのようです。  
 甲三年間セリオを続中々来て少レふり返すゆえに...  
 紆余曲折がありながらも続中々来たのは沢山のお客様  
 とうご縁と言おうかありまん。唯一無二の絶対的商品の  
 カヒ支えてもらって来たスタッフに感謝。残すまま私の  
 性分は体は弱めで性格は奥の奥で世間のびんぼうの不平等  
 で、時折ご迷惑をおかけしてしまったりした。それなのに時として  
 信じやうくかまされてしまふのか? とう危うい橋であつても「エエ」と  
 決意しては渡つて来たようは決断にこそいふ私共は苦難を  
 背負う選路をへて来たのわしもある。つまり何をもうかすか  
 というのが成印と云えるのかを考えてゆるとき。失敗と挫折の  
 量は。幸福と成印の量と比例する人も居ると気付いて  
 救われたいやいめな挫折を味ゆう感練は成印者達で  
 経験してない人は皆無でむしろそこからどう立ち上がるか  
 忍耐と精神力の歩む道。の先に勝利の女神は微笑むの  
 であり。感練とは試される訓練であり修業なんだと思ふ事  
 もあるわしもある。つまりと思ふ。道は風は自分の意志  
 と関係なく飛ばされてしまふもの。一か一散山向かい風は。  
 自分の意志で自分の道を前進させらるるのです。情動は  
 時に山を登る道えさうに居る炎も自ら燃やレ続けるか  
 ありまん。そんな火をこまマツキとやら来て次はマツキの  
 火を着けてあがる人に寄り添ひと思ふううう改まり。只ひたあ  
 咲く春の気運に夢人が元気をもらってお登りするの。  
 時節柄くれぐれもご自愛のうとお思ふことまじまじ。

令和五年三月五日

敬具

松本幸一

